

第217回 創薬科学セミナー



GTR/CIBoG seminar



日時: 2026年9月11日(金曜日) 16:00~17:30

場所: 創薬科学研究館 講義室

山本 圭 先生

徳島大学・大学院社会産業理工学研究部・教授

Prof. Kei Yamamoto

Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences,
Tokushima University

皮膚の恒常性と炎症を制御する新規リゾリン脂質

Novel Lysophospholipids Regulating Skin Homeostasis and Inflammation

表皮は生体の恒常性を維持するバリア組織であり、その破綻は慢性皮膚炎症の発症につながります。山本教授はリン脂質代謝酵素PLA2G2Fが産生するリゾリン脂質であるリゾプラズマローゲンを同定され、この脂質が皮膚バリア機能に加え、アトピー性皮膚炎や乾癬、さらには創傷治癒を制御することを明らかにされつつあります。また、三次元皮膚培養モデルを構築し、皮膚バリア形成機構の解析や医薬部外品・化粧品開発への応用を進めておられます。本講演では、皮膚の恒常性と炎症を制御するリゾリン脂質の生理機能と応用について解説していただきます。

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります。

連絡先: 細胞生化学分野 人見清隆 hitomi@ps.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻

Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University